

用水路先端、3 km地点を突破

タラーン分水路ルート決定、早期送水を目指す

カマ堰改修近し

東部の秩序混乱

事務局のみなさん、後藤・村上先生、
お疲れさまです。

マルワリード II（カチャラ・コーティ・タラーン・ベラ）は、難民たちの早期帰農を促すべく、全力で全流域の灌漑を目指しています。ジャララバード帰着と同時に、フル回転で主幹水路、分水路造成を開始しました。この二週間で主幹水路工事の先端は、3.2 km地点を突破しました。調節池Ⅲ予定地を突き抜けて、来週から 3.4 kmからの主幹水路（調節池Ⅳまで 1375m）、タラーン分水路（1350 m）のライニングが開始されます。一方、調節池Ⅲと洪水路横断サイフォンができないと水は流れないので、同時進行でこの工事も本格化しています。作業の中心はこの池周辺に移りました。

訓練所の方は、10 月 31 日までに内装を含めた全工事を終了、11 月 30 日までに行政手続き完了と指示され、こちらも追い込みに入りました。土地問題は膠着して、結局 1.8 ヘクタールの確保で妥協しました。この二三年、旧軍閥は土地の転売で利益を得るビジネスに手をつけています。政府公用地を囲い込み、政府内の役人とつるんで他人に売却するのです。旧軍閥の係累が関係部署に居て操作するので、普通の者が手を出せない仕組みになっています。多くの政治家も旧軍閥の系列の中にあり、彼ら同士の対立の中で動きがつかなくなっています。

最近急増している誘拐などの犯罪の多くは、他でもない治安関係の役人さえ絡んでいることもあり、普通の者は泣き寝入りを強いられます。そして、こちらの方が反政府勢力よりも脅威です。

9 月にジャララバードで医療関係者の大きなデモがありました。カネ目当ての脅迫電話で診療がまともにできないそうです。この時、取締り強化を要求された警察署長（県警のトップに当たる）が、「我々は圧力によって動けない」と正直に告白、人々を落胆させました。もはや、ひとつの秩序の終局にさしかかっており、人々の忍耐が限界に近づいていると見ています。事態はタリバーン政権が出現した 1995 年頃の様子に酷似しています。これは小生と職員・作業員の漠然とした皮膚感覚ですが、大きくは外れていないと思います。

このような事情もあって、工事を少し急がせています。カマ堰改修は書類を揃え、早ければ今週に署名式を終え、来週から着工します。今冬の仕事では最大規模となります。予想外の難工事で長引いた排水路工事も、何としても 12 月までには終止符を打ちます。

来年の夏までにいっそうの混乱が進み、現場に近づけない事態も予測されます

が、不必要に不安がる必要はありませんので、ここは日本側で過度に詮議せず、静観願います。ただ日本国内の予定に縛られて動けないと、取り返しのつかないことが起き得ますので、その点は十分に配慮をお願いします。

外国団体はもちろん、他に目立って動いている団体はなくなりました。今となっては、皆が怖がる農村地帯、特にジャララバード北部のPMS作業地は、東部で最も安全な場所となりました。渇水や無警察状態にめげず、一同、はつらつと働いています。「終末の時こそ襟を正して人間らしく振舞う」という、誇りというか、宗教感情のようなものが背景にあります。この精神性は今の日本では

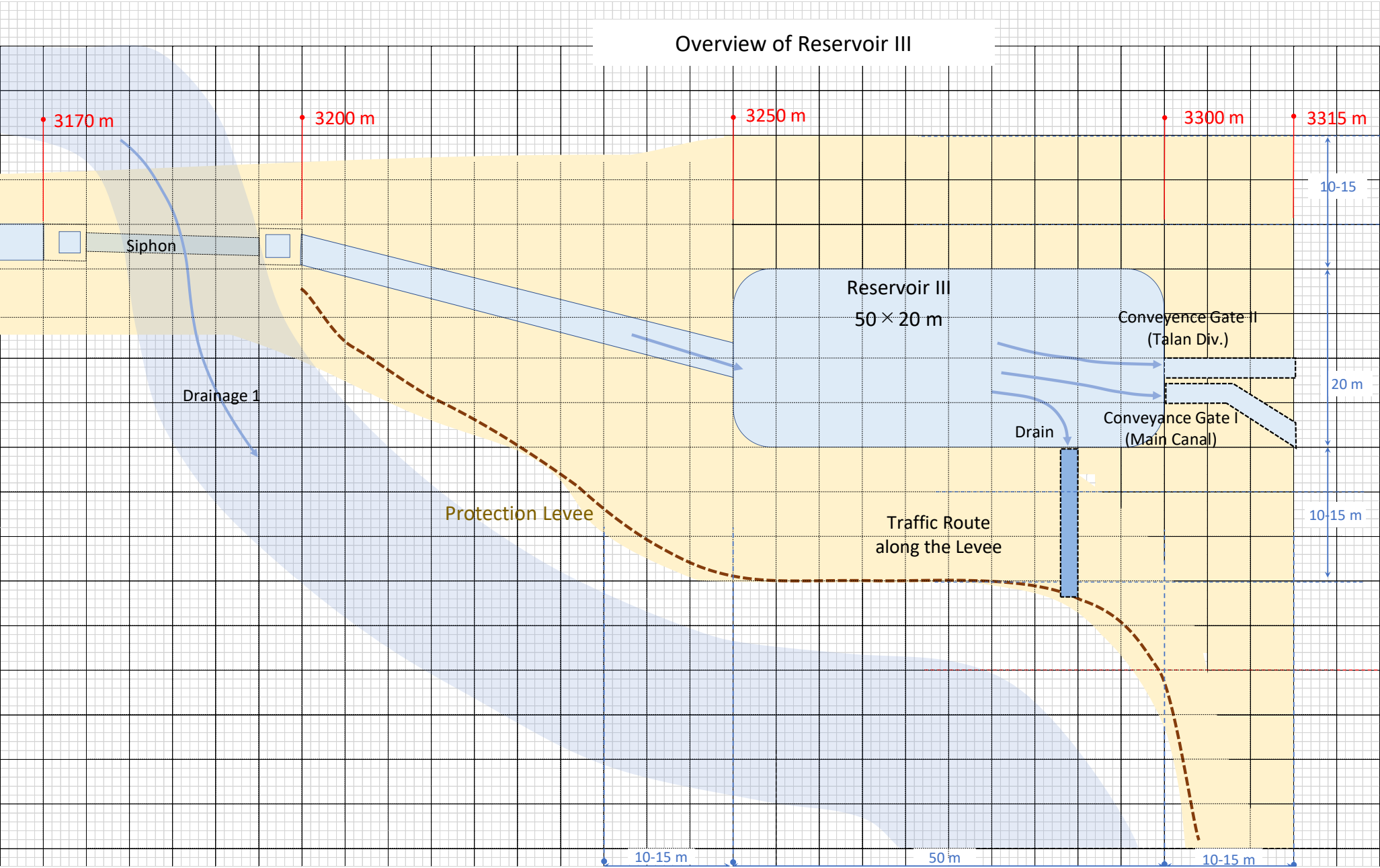
分かりにくいかもしれませんが、ひとつの拠り所になっているのは確かです。ジャララバード郊外からカシコートの果てまで、子供たちが我々を見かけると敬礼して挨拶します。人々の唯一とも言える希望となっていることに、PMS職員一同、励まされています。

なお、パソコンがまともに操作できなくなっているので、写真は暇々に少しづつお送りします。

みなさん、お元気で。

2017 年 10 月 9 日 記

調節池Ⅲの最終案と位置を示す。



8月29日の調節池Ⅲ予定地の状態。用水路は3250mで池に入り、3300mで主幹水路、タラン分水路を送る。早期灌漑の上で最大の要衝と見て、作業を集中していた。(8月のレポート参照。)



2017 年 10 月 8 日の状態。湿地と排水路 2 の位置を右岸側に追いやり、調節池Ⅲの基礎が進んでいる。



3100m地点のライニング。10月8日に調節池の手前まで達し、翌9日よりグループは調節池周囲の工事に入った。2017年10月8日



サイフォン部は、並みの浸透水ではなかった。先週から排水路をさらに遠ざけ、浸透水を排除しながら基礎うちを行い、今週建設を始めている。用水路ライニング班は、作業中の排水路を越えて、池周囲の造作に参加している。2017年10月9日



3200m地点からのライニング。2017年10月9日



主幹水路は 3.0 km地点を越え、調節池Ⅲに迫る。ヤールモハマドの指揮。 2017 年 10 月 8 日



約 2.5 km 付近の主幹水路。2017 年 10 月 8 日



現排水路2の水は、排水路3に引き込まれ、タラーン村全域と、ベラ村上流部で利用されている。現作業地付近。2017年10月8日



排水路Ⅲをたどれば、調節池Ⅲより 1350m（取水口から 4650m）でタラーン村の入り口に着く。ここで、ベラ村上流部と排水路が分かれる。同排水路は、予定の調節池Ⅳに続く。ほぼ筋書き通りで、先は見えた。来週よりこの「タラーン分水路」が焦点の一つとなる。2017 年 10 月 8 日

